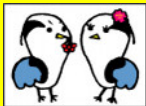


～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成29年2月28日 (N0.87)



浦幌町教育委員会  
浦幌町教育研究所

### 1. 学習常規の一貫性、個に応じた学習方法の設定

小学校と中学校の学習常規を統一した。小中の連結が容易になり、中一ギャップの解消や学力向上に繋がる事が期待できる。

(提案) 小規模校においては、学習常規を揃えるとともに、個の特性に応じた学習の仕方を工夫していく。

### 2. 浦幌町CSだよりの共同発行

CS担当者等による「学園カレンダー」や「CS便り」の発行は、小中一貫CSの推進・啓発に大いに役立った。

(提案) 新年度は、両学園合同の「CSだより」を作成し、町内全戸配布していく。

### 3. 小中一貫CSの活動とアクションプランの関わり

熟議を通して作成したアクションプランに基づいた小中一貫CSを推進していく必要がある。

(提案) 浦幌学園では、「ふるさと教育」と「キャリア教育」との関わりを整理するとともに、6年生の「太陽への手紙」と中学3年生の「まちづくり活性化提案」との連動を図っていった。

## 第3回CS推進協

■平成29年2月28日(火)、第3回浦幌町小中一貫CS推進協議会が開催され、28年度活動報告と29年度計画について交流・協議を深めました。

2年目を経過した小中一貫CSの成果や課題は、次の通りです。

### 4. 活動の重点化と柔軟化

(提案) 「教育の日実践交流会」の実施にあたり、「早寝・早起き・朝ごはん(挨拶、ノーテレビデー)」運動や「朝読・家読(リレー家読)」「学力・体力の向上」など、取り組むべき課題が多い。子供たちは多忙であり、重点化を図っていく必要があるのでは。

「リレー家読」については、発達段階からみて中学生が取り組むには困難を伴う。柔軟な対応が必要では。

### 5. 活動報告の効率的な作成

年度途中で新たな活動を追加する2ヵ月ごとの報告、学期ごと及び年間をまとめた報告を提出している。

(提案) 報告作業が重複しないよう効率的な作成方法の工夫が必要では。

■今回、協議会委員の皆さんから出された新たな気付きや改善案を生かし、より充実した小中一貫CSをとに進めていきましょう。船を漕ぎ出すときには大きな力が必要です。取り組むときの「多忙感」が、やって良かったといえる「充実感」に変わることを願っています。



平成28年度小中一貫CS推進協議会の皆さん